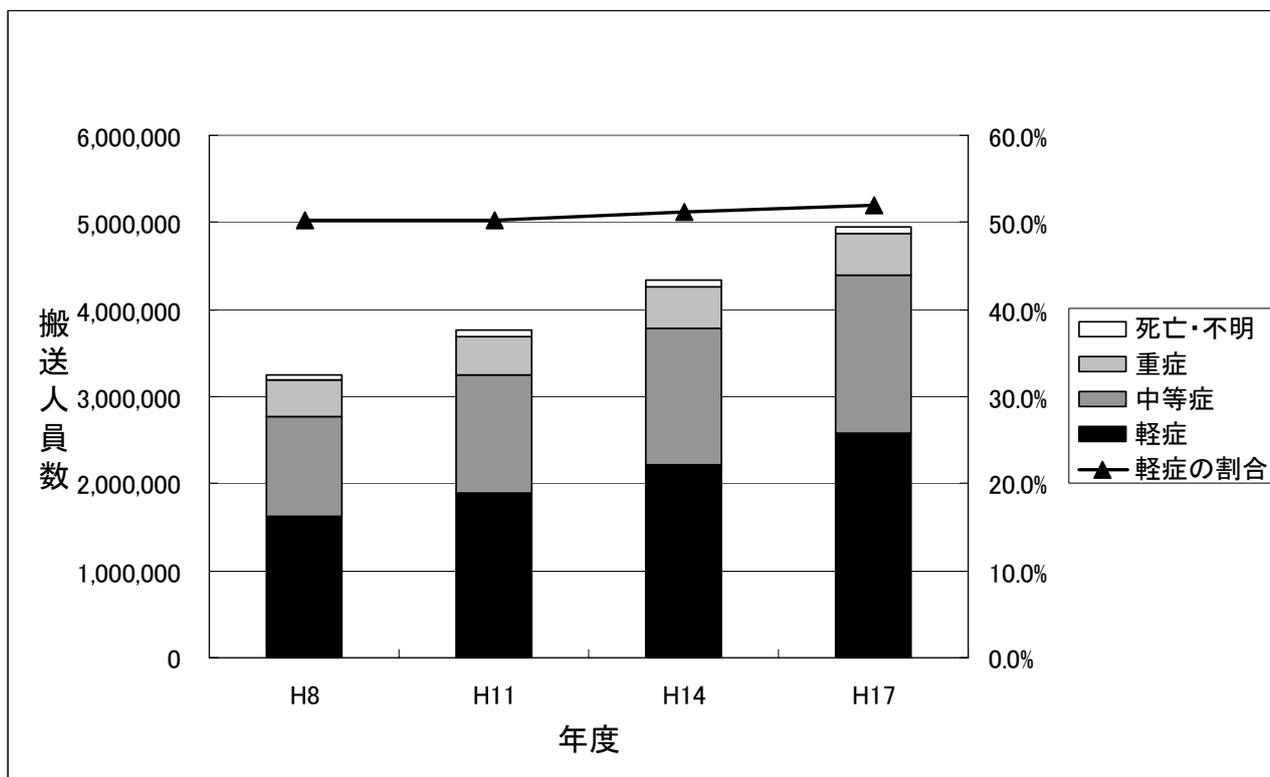


## 勤務医の負担軽減策について②

—初再診等の外来診療について—

(参考資料)

図表 1 救急自動車による傷病程度別搬送人員の状況（再掲、一部追加）



	H8	H11	H14	H17
軽症	1,628,072	1,886,784	2,219,052	2,579,910
(軽症の割合)	(50.1%)	(50.2%)	(51.2%)	(52.1%)
中等症	1,134,852	1,352,422	1,567,375	1,816,674
重症	426,154	456,165	477,456	482,207
死亡・不明	54,148	64,625	66,052	77,185

※ 軽症は入院治療を要しないもの、中等症は概ね3週間以内の入院治療が必要なもの、重症はそれ以上のものをいう。

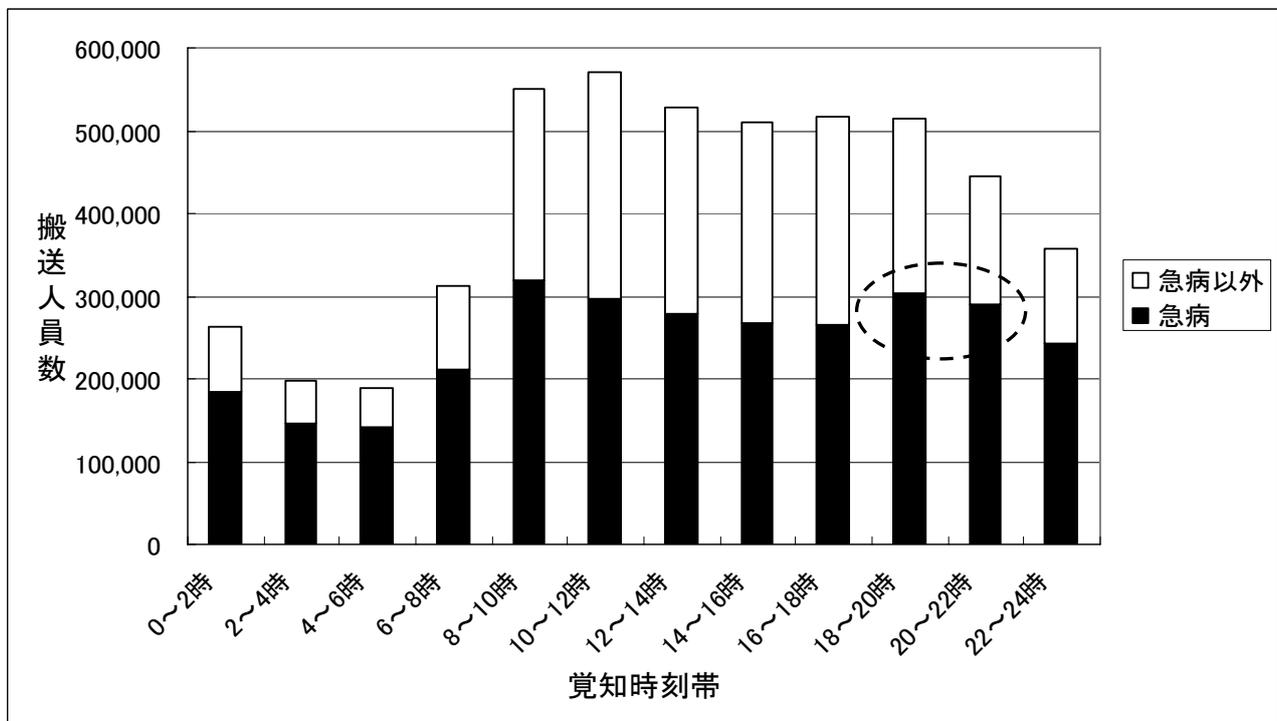
(出典) 総務省消防庁「救急・救助の現況 平成18年版」

図表 2 救急医療施設整備の推移（再掲）

	H14	H15	H16	H17	H18	19年
初期救急（休日夜間急患センター数）	504	509	510	512	508	511
初期救急（在宅当番医制実施地区数）	678	686	683	677	666	654
入院を要する救急（施設数）	3,289	3,271	3,253	3,228	3,214	3,153
入院を要する救急（輪番制地区数）	403	403	403	411	411	408
救命救急センター	160	165	170	178	189	201

（出典）医政局指導課調べ

図表 3 救急自動車による覚知時刻別搬送人員の状況

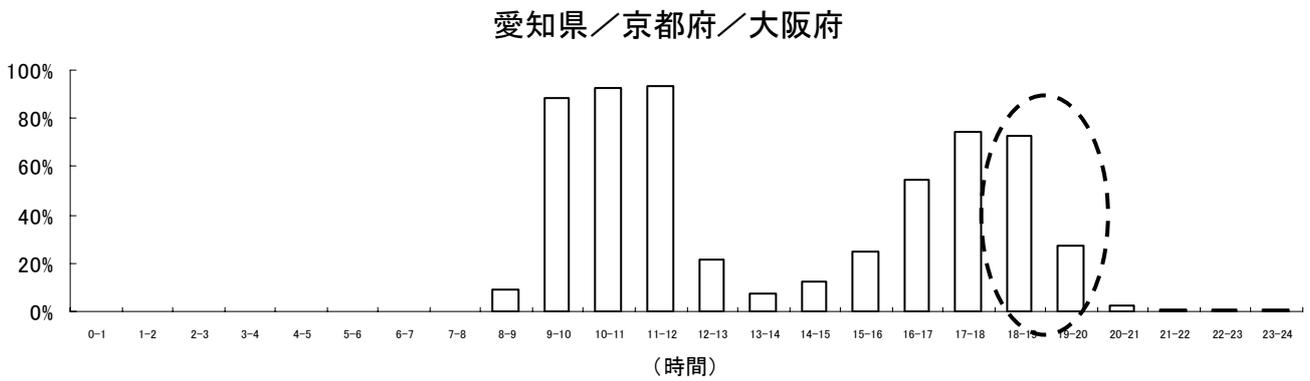
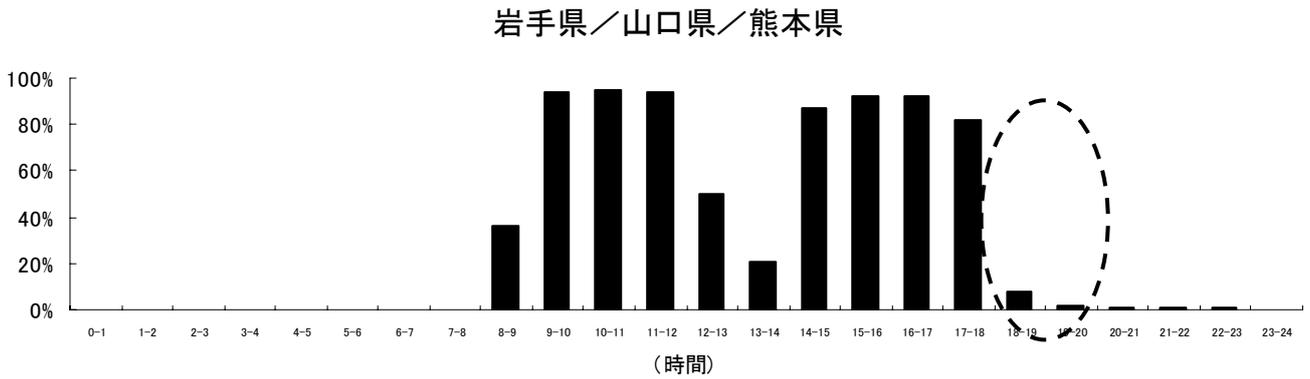


※ 覚知時刻とは、消防機関が急病による搬送要請を受けた時刻をいう。

※ 「急病以外」とは交通事故、一般負傷、その他の合計

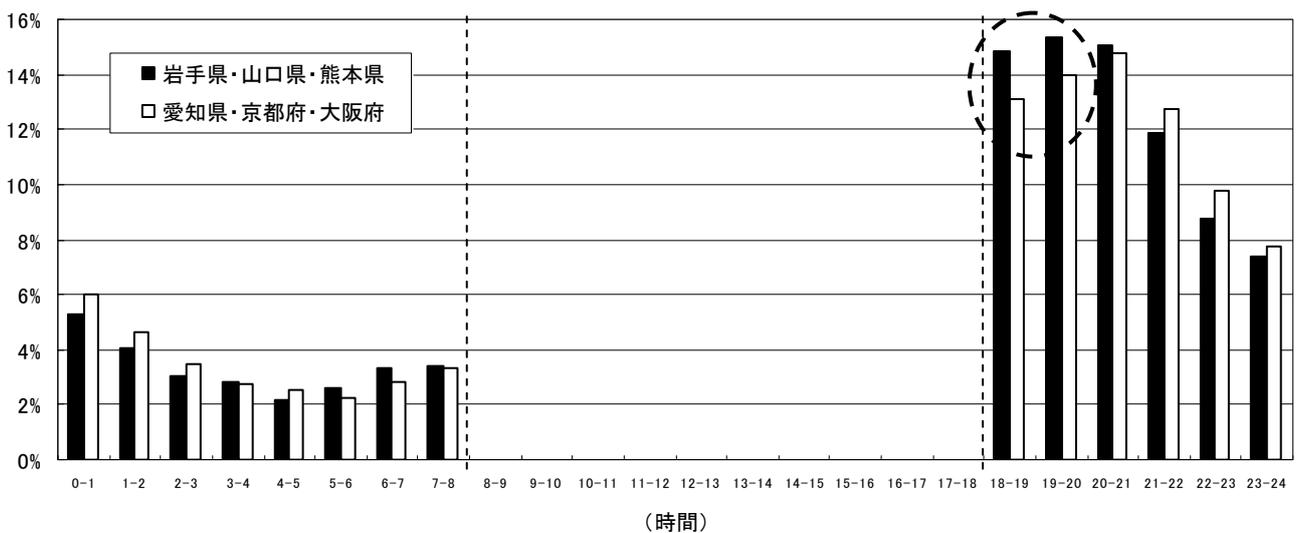
（出典）総務省消防庁「救急・救助の現況 平成18年版」

図表4 時間帯別開業診療所数の割合



(出典) 保険局医療課調べ

図表5 第二次・第三次救急医療機関における時間帯別患者数の割合



(出典) 保険局医療課調べ

図表 6 時間外救急受診者における診療所受診の希望状況

	受診する	受診しない	無為回答
全体	59.6%	33.2%	7.2%

※ 18時以降に第二次・第三次救急医療機関を時間外受診した患者に対し、休日・夜間に近隣で開いている診療所があれば受診を希望するか聞いた結果。

(出典) 保険局医療課調べ

図表 7 病院・診療所別にみた医科の院外処方率の年次推移

年度	H14	H15	H16	H17	H18
病院	53.7%	57.0%	62.5%	61.1%	62.3%
診療所	42.3%	45.4%	47.4%	49.5%	51.7%
総数	46.0%	48.9%	51.7%	52.8%	54.6%

※ 院外処方率とは、処方料及び処方せん料の合計算定回数に対する処方せん料の割合

(出典) 社会医療診療行為別調査結果